令和５年２月６日

令和５年度松阪市一般会計当初予算

番号	5
事業名	ＤＸ推進事業費 ・データ分析「データに基づく政策立案の推進」 ・オンライン申請フォーム「LoGo フォーム」の機能拡充
予算額（主な支出）	【データ分析】 ・報償費 150 千円（講師謝礼金３回）　・旅費 126 千円（講師旅費３回） 【オンライン申請フォーム】 ・使用料 3,759 千円（システム本体及びオプション機能[xID 公的個人認証、クレジット決済、デジタル窓口、ぴったりサービス連携など]）
特定財源	なし
事業の概要	本事業は、市民サービスの向上や行政事務の効率化を推進するため、デジタル技術の導入による BPR（業務改革）に取組み、誰にとっても使いやすく「やさしい（優しい・易しい）」DX（デジタルトランスフォーメーション）の実現をめざす。
事業の背景など	【データ分析】 近年、政策立案における信頼性を確保するため「EBPM（証拠に基づく政策立案）」が注目されていることから、松阪市においても実行性が高い計画を策定し、より効果的に事業を実施するため、庁内で継続的にデータ分析を行う仕組みを検討する。 【オンライン申請フォーム】 令和 4 年度はオンライン申請の総合窓口「ちゃちゃっと手続き」を開設し、手続きの利便性を高める取組を進めてきたが、令和５年度はクレジット決済機能やマイページ機能などを実装し、さらに市民が便利に利用できるオンライン申請環境を整える。
目的・効果など	・政策立案における信頼性の確保 ・オンライン申請環境の利便性向上
事業スケジュール	【データ分析】R5 年度：対象データの整理、体制及び分析ツールの検討 【オンライン申請フォーム】R5 年度：4～6 月追加オプション機能の実装
添付資料	参考資料あり
備考	なし
担当課	企画振興部 デジタル未来戦略局 市政改革課　　電話 53-4350

（参考資料）その他ＤＸに関する主な取り組み

●オンライン申請による証明書（住民票、戸籍、税証明）の発行

【概　　要】マイナンバーカードを使って、オンライン申請により住民票の写し等を申請者の自宅に郵送する。（実施予定：８月～）
支払いはクレジットカード等による。

【事 業 名】戸籍住民基本台帳一般経費、税務証明交付事業費

【担 当 課】戸籍住民課、市民税課

●公共施設予約システムへのクレジット決済の導入

【概　　要】インターネットを通じて体育施設等の空き状況の照会や利用予約申請ができる「松阪市公共施設予約システム」で、使用料の支払いにクレジットカード決済ができる機能を導入し、利用者の利便性向上を図る。

【事 業 名】公共施設マネジメント推進事業費

【担 当 課】市政改革課

●電子契約の導入

【概　　要】契約事務に関するコスト削減と業務の効率化を図るため電子契約を導入するための実証実験を行う。（※Ｒ５の予算措置なし、本格導入はＲ６を予定）

【事 業 名】契約監理事業費

【担 当 課】契約監理課

●口座支払情報検索システムの導入

【概　　要】事業者等への支払・振込時に郵送していた支払通知はがきの発行を見直し、インターネット上で支払内容等が確認できるシステムを導入し、はがきの作成費用や郵送料などのコスト削減と業務の効率化を図る。

【事 業 名】会計管理一般経費

【担 当 課】会計管理課

●ＡＩ－ＯＣＲの導入

【概　　要】紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化するＡＩ－ＯＣＲを導入し、これまで人の手作業で行っていた手書き帳票のデータ入力作業等を効率化し、業務の生産性を高める。

【関連事業】システム管理事業費

【担 当 課】情報システム課